

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、海水浴場から避難する一時滞在者、合計約**256人分**:バス**7台**。
- 各事業所の従業員の避難方法については各事業所単位で周知(施設敷地緊急事態で、自家用車により帰宅)。

	想定対象人数 [※]	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	約 84人	3台	1台のバスが複数箇所をまわり乗車 1台当り45人程度の乗車を想定 【資料P36】
観光施設から避難する一時滞在者	約 135人 (1,343人×0.1)	3台	バス1台当り45人程度の乗車を想定 1日あたりの観光客数1,343人のうち、9割以上が自家用車で訪問している(『平成27年度観光客入込調査 おおい町』)ことを踏まえ、その1割を想定対象人数として算入。 【資料P37】
海水浴場から避難する一時滞在者	約 37人 (366人×0.1)	1台	バス1台当り45人程度の乗車を想定 1日あたりの海水浴客約366人のうち、9割以上が自家用車で訪問している(『平成27年度観光客入込調査 おお』)ことを踏まえ、その1割を想定対象人数として算入。 【資料P38】
合計	約256人	7台	

※ 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難

- 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方れいなんのバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転手については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

		確保車両台数	備考
		バス	
(A)必要車両台数		7台	
(B)確保車両台数		計7台	
確保先	バス会社 <small>れいなん</small> [福井県嶺南地方]	3台	保有車両台数 バス173台
	関西電力	4台	保有車両台数 バス9台

※1 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

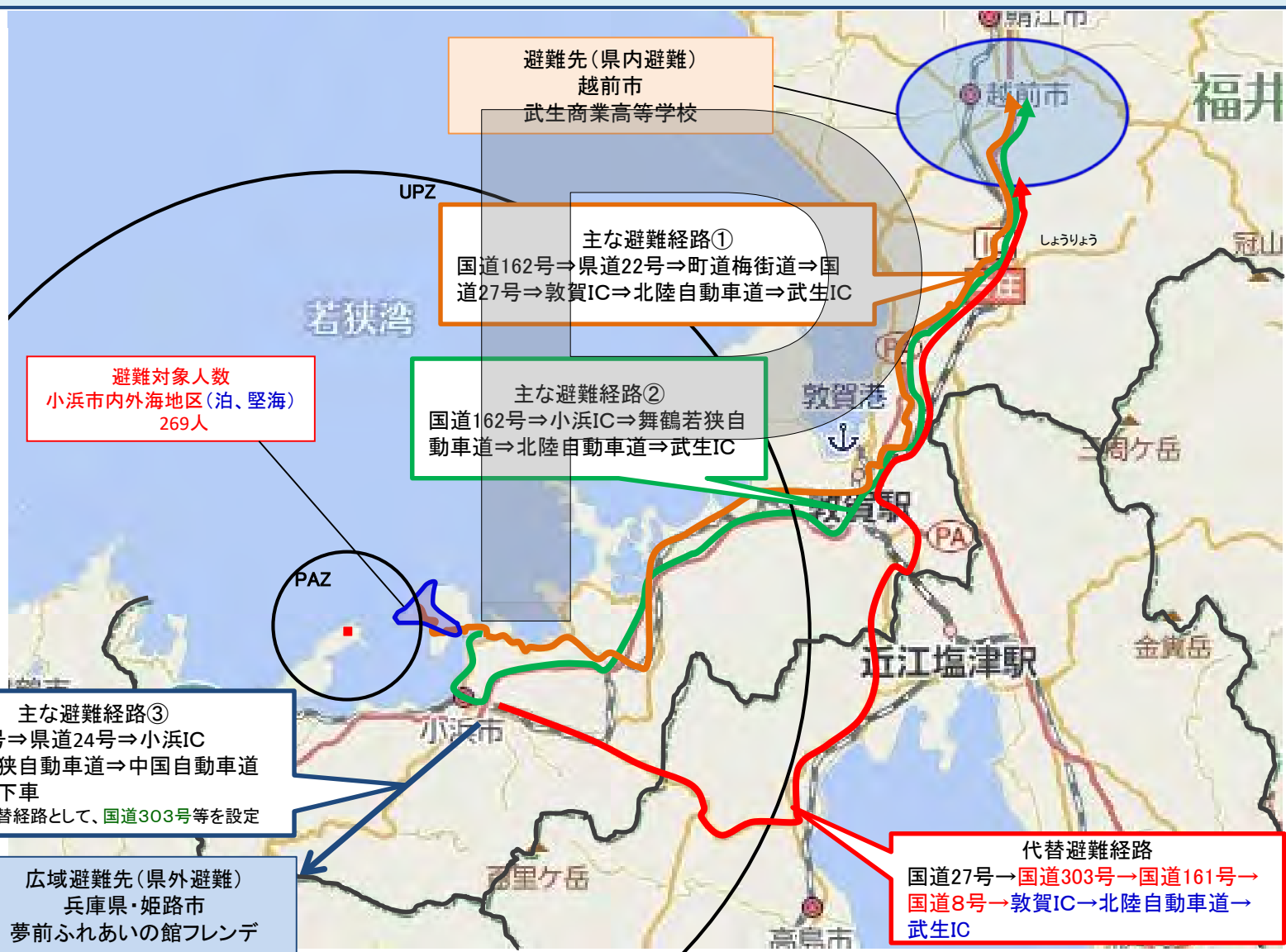
おおい町大島地区から避難先施設までの主な経路

➤ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートより避難を実施。



うちとみ 小浜市内外海（泊・堅海）地区から避難先施設までの主な経路

➤ 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートより避難を実施。



避難先（県内避難）
越前市
武生商業高等学校

主な避難経路①
国道162号→県道22号→町道梅街道→国道27号→敦賀IC→北陸自動車道→武生IC

主な避難経路②
国道162号→小浜IC→舞鶴若狭自動車道→北陸自動車道→武生IC

避難対象人数
小浜市内外海地区（泊、堅海）
269人

主な避難経路③
国道162号→県道24号→小浜IC
→舞鶴若狭自動車道→中国自動車道
→福崎IC下車
※その他代替経路として、国道303号等を設定

広域避難先（県外避難）
兵庫県・姫路市
夢前ふれあいの館フレンデ

代替避難経路
国道27号→国道303号→国道161号→
国道8号→敦賀IC→北陸自動車道→
武生IC